

# 経営比較分析表

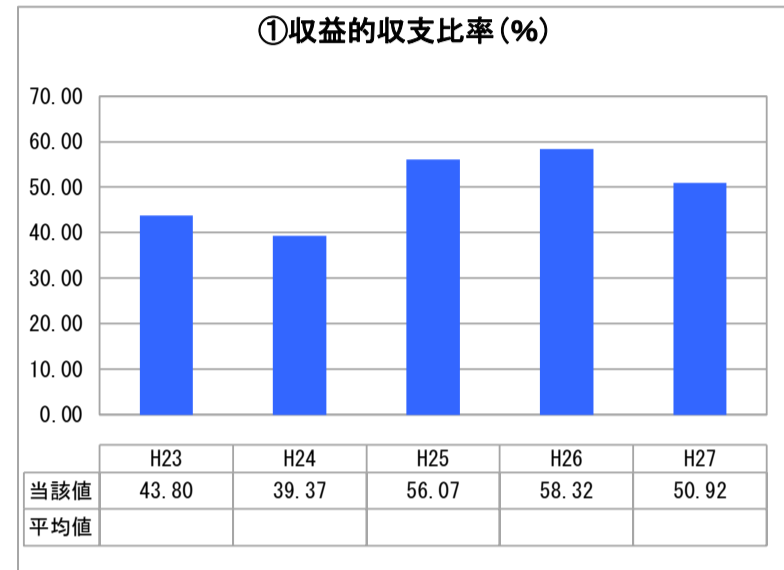
埼玉県 八潮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	73.20	86.21

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
86,138	18.02	4,780.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
63,170	7.55	8,366.89

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

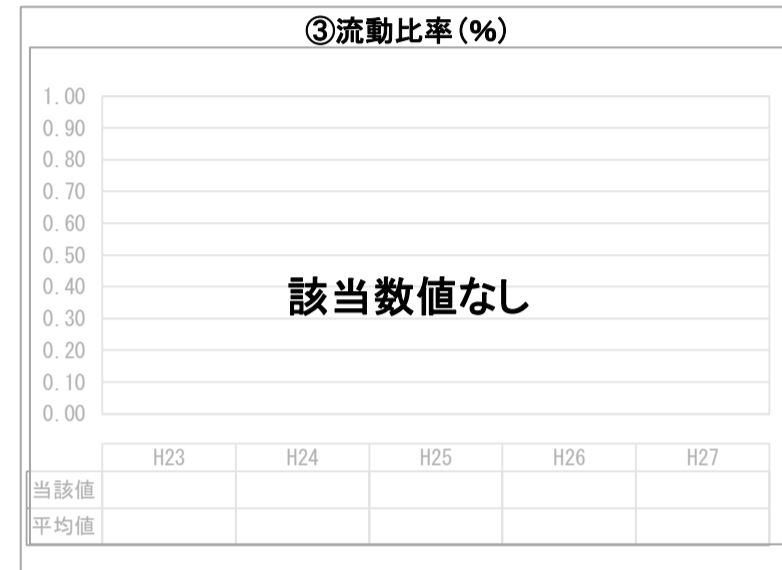
## 1. 経営の健全性・効率性



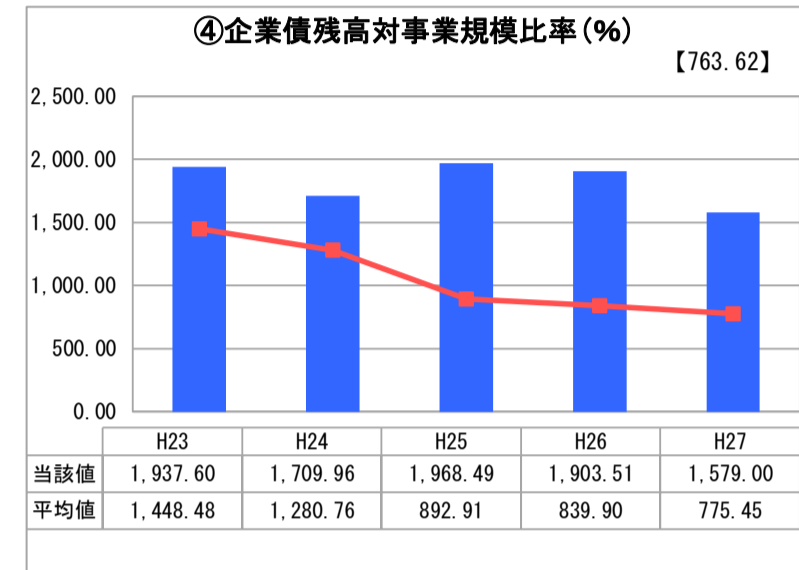
「単年度の収支」



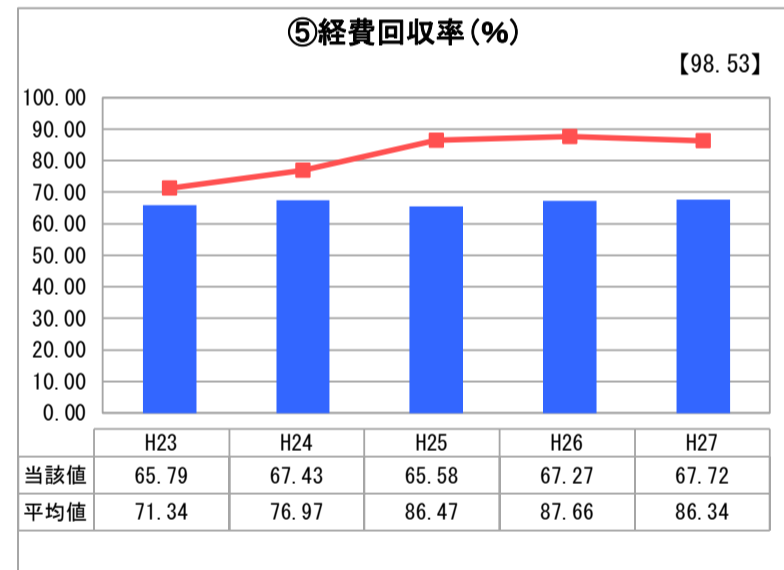
「累積欠損」



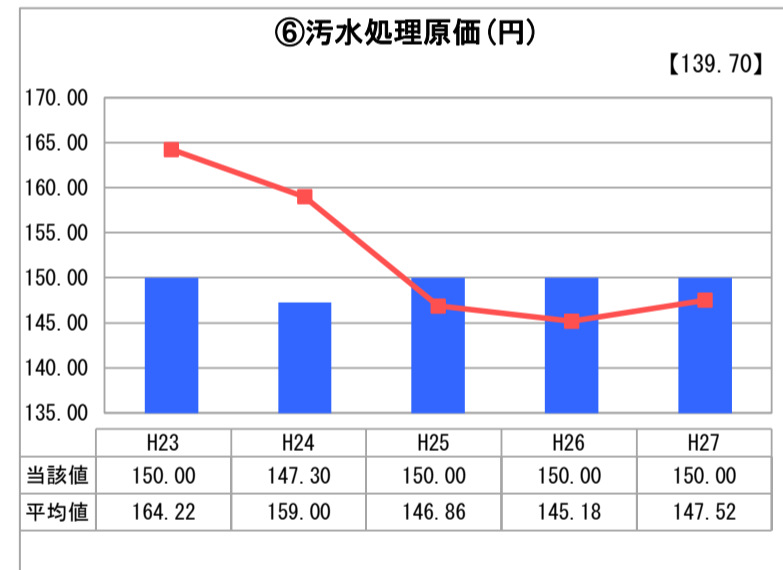
「支払能力」



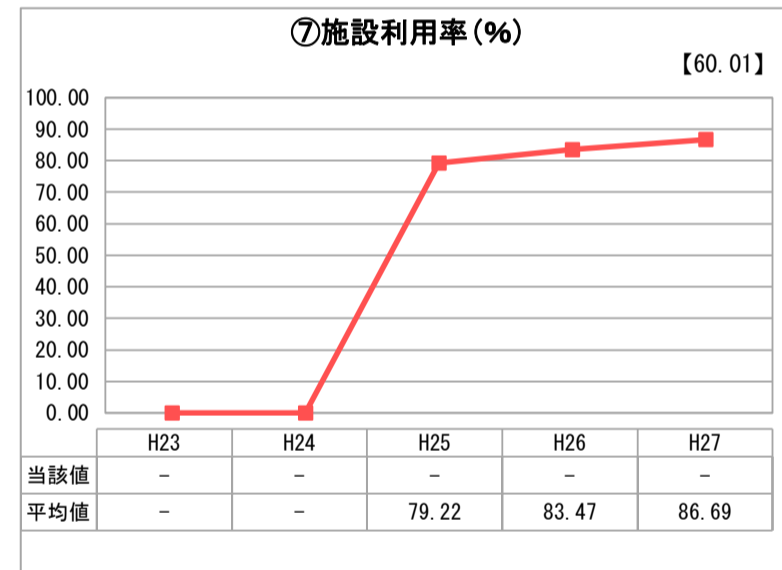
「債務残高」



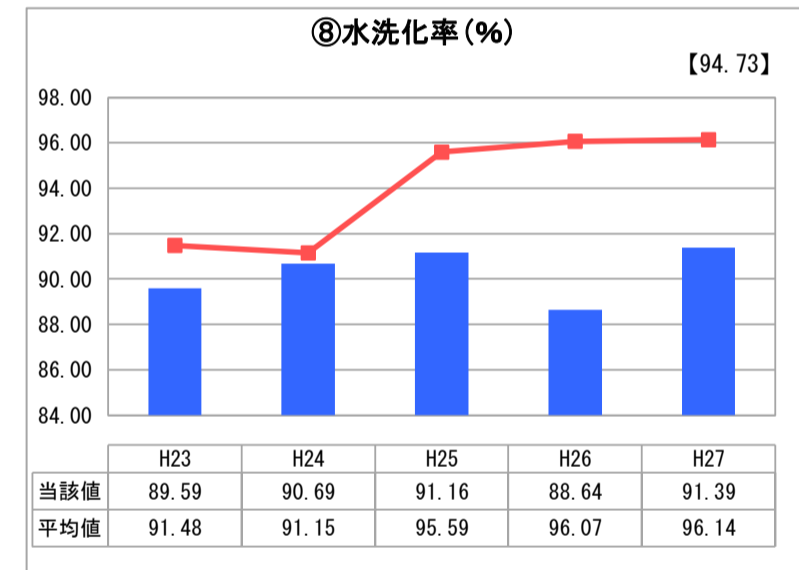
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

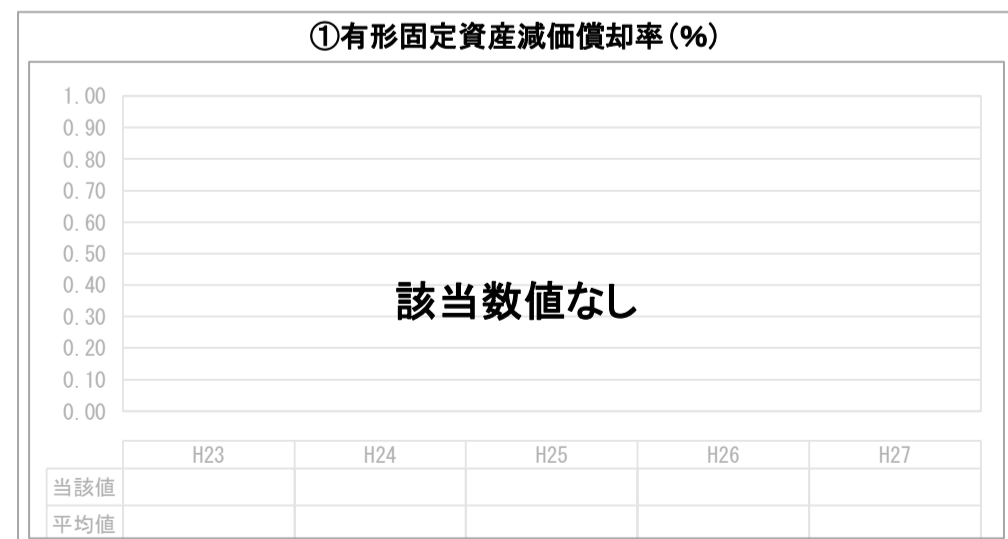


「施設の効率性」

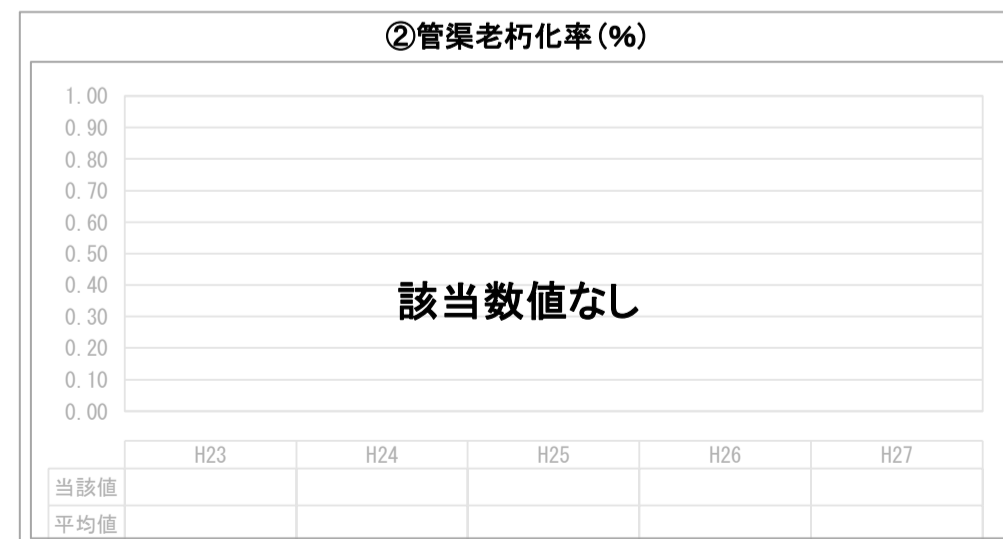


「使用料対象の捕捉」

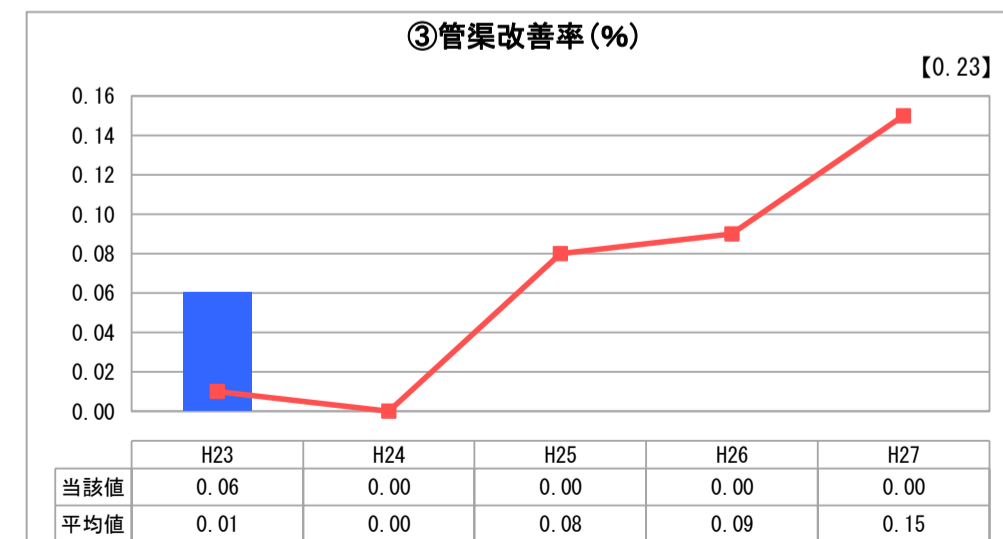
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については100%未満であるが、経年で比較した場合改善傾向にあり、経営改善に向けた取組の成果が出ている。  
平成27年度については、一般会計繰入金の基準内繰入金が減少したことによるものである。

④企業債残高対事業規模比率については、平成25年度からは、減少傾向にあるものの類似団体平均値と比較すると依然として高い数値となっている。  
これは、下水道の整備が建設途中であるため、企業債残高が減少しにくくなっているためである。

⑤経費回収率、⑧水洗化率については、上昇しており改善傾向にあるが、類似団体平均値と比較すると低い値となっている。

⑥汚水処理原価  
ほぼ150円で推移しており、類似団体平均値と比較しても同じ水準にある。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率  
法定耐用年数を経過した管渠はなく、更新投資額については少ない状況にある。

## 全体総括

現在も下水道の整備を進めていることから、各数値については改善傾向に向かっているものの、企業債残高が減少しにくくなっている。  
今後、更に経営の健全化を進めるにあたり、定期的な下水道使用料の見直し等を行うなど安定した経営を行えるよう事業を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。